

第2回

蒲田駅周辺地区基盤整備研究会

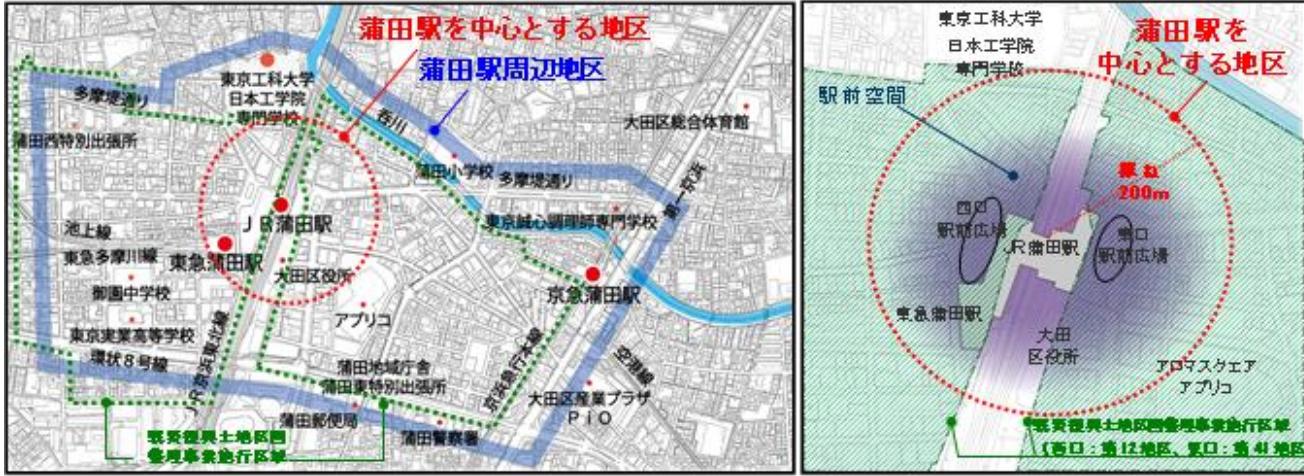
2020.10.21

目次

1. 第1回蒲田駅周辺地区基盤整備研究会の振り返り
2. 検討スケジュール
3. 蒲田駅周辺における課題
4. 蒲田駅周辺における基盤整備の検討方針
5. 整備の方向性

1. 第1回蒲田駅周辺地区基盤整備研究会の振り返り

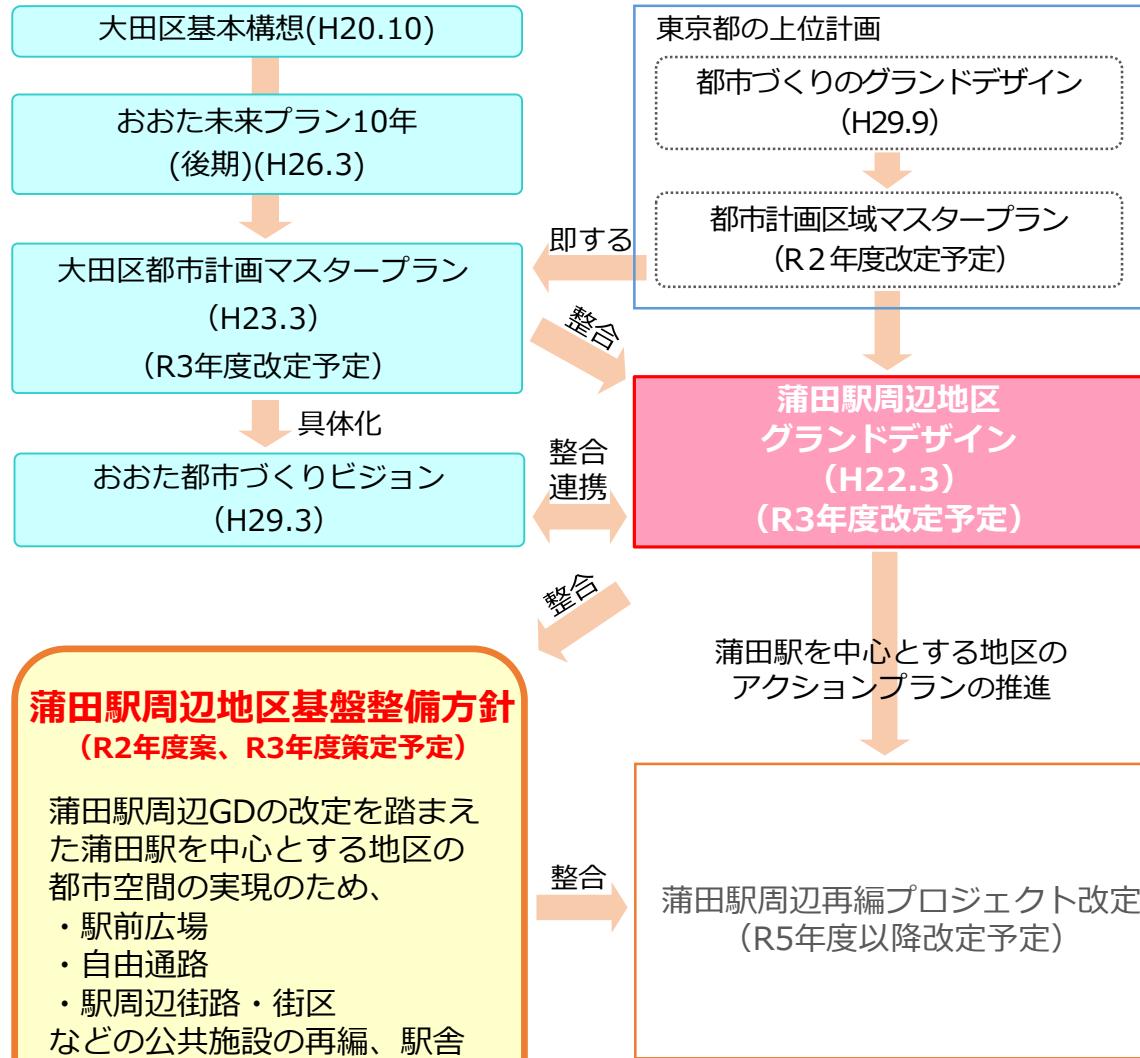
(1) 基盤整備方針の対象エリア



蒲田駅周辺地区グランドデザイン対象区域

蒲田駅周辺基盤整備方針の検討対象区域(駅前空間)

(2) 基盤整備方針の位置づけ



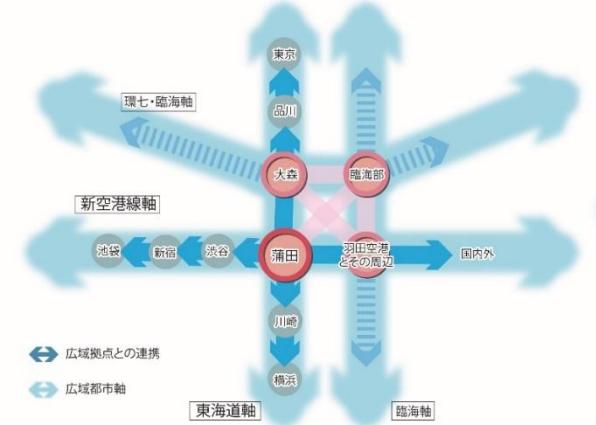
蒲田駅周辺地区基盤整備方針 (R2年度案、R3年度策定予定)

蒲田駅周辺GDの改定を踏まえた蒲田駅を中心とする地区の都市空間の実現のため、
 ・駅前広場
 ・自由通路
 ・駅周辺街路・街区
 などの公共施設の再編、駅舎駅ビルや駅周辺の再開発を一体的に行うための方針

(3) 駅周辺の将来像 - 蒲田駅周辺地区グランドデザイン改定骨子案より -

- 蒲田駅周辺地区グランドデザインの改定骨子案では、新空港線や空港跡地の進展により新たな広域都市軸(新空港線軸)が形成され、東京都心や羽田空港との連携が強化されるなか、東海道軸と新空港線軸の結節点に位置する蒲田には『**重要な地域の拠点**』としての役割が求められています。
- また、拠点としての役割を果たすために、『**交通結節点としての利便性を活かす**』とともに未来のライフスタイルへの対応や先端技術の活用も意識しながら、『**広域的な拠点性を高める機能の強化・充実**』と『**鉄道沿線の日常的生活を支える機能の強化・充実**』を両輪で進めていくことが求められています。
- 上記を実現するための機能として、『**交通結節機能の強化**』や、『**まちを回遊する歩行者空間の確保**』などが望まれており、『**基盤整備方針にて整備イメージを明らかにしていきます**』。

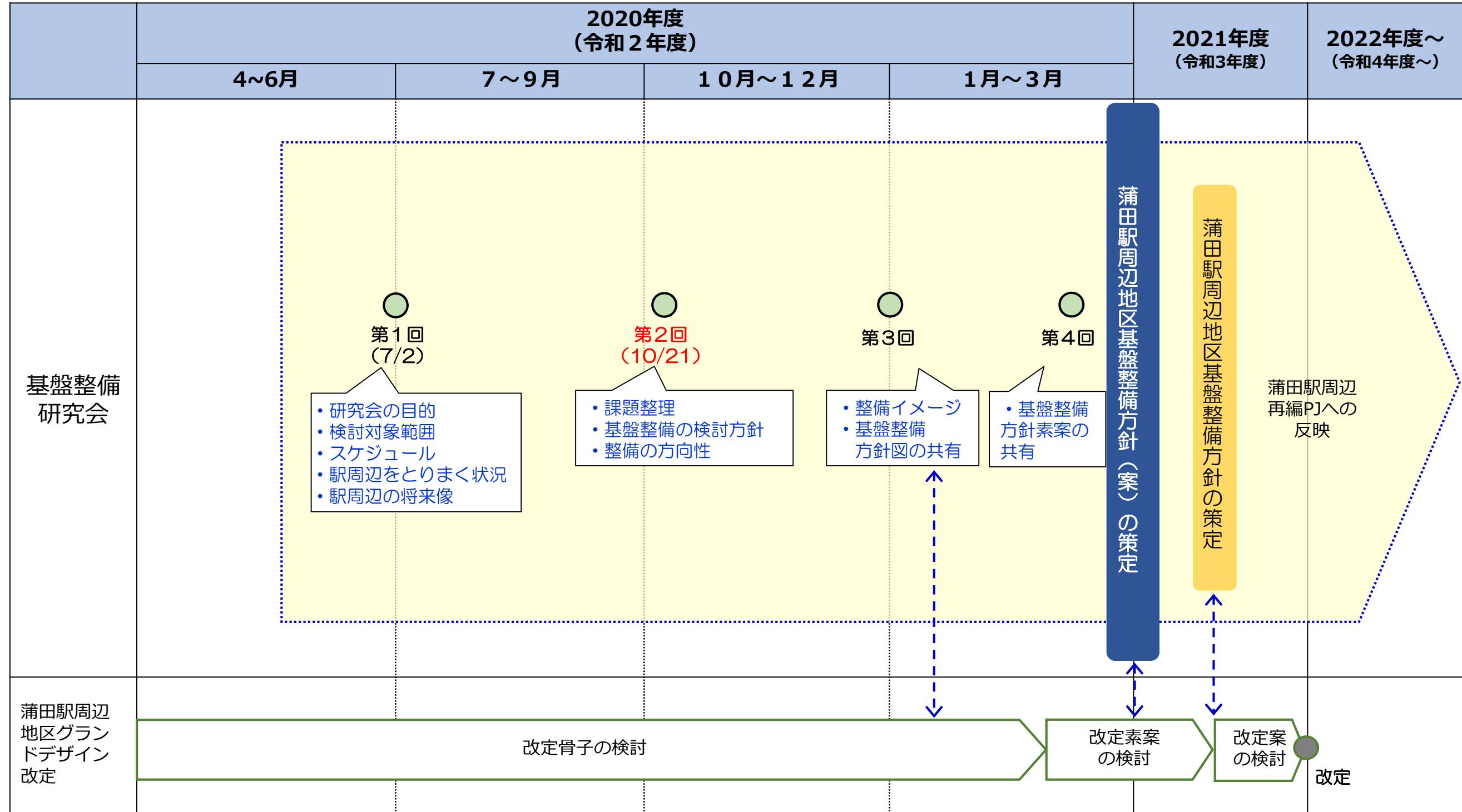
東京圏における蒲田の位置づけ



(4) 蒲田駅周辺で求められる都市・交通機能

	キーワード	将来イメージ	付加すべき都市機能	求められる交通機能
広域中心拠点の役割	ものづくりを基軸に、東京城南地域の産業・経済の活性化をけん引	駅周辺への機能導入により 拠点性が高まり、多くの人々が集まり、交流 することで、蒲田駅から 新たな技術や文化が生まれ、国内外へアピール していくまち	国内外企業のものづくり拠点となる オフィス 交流・新産業、育成機能 スタートアップ支援、シェアオフィス、協働ラボなど 商談の場 ラウンジ、レンタルスペースなど	◆ 多くの人々が利用する駅として、 十分な駅前空間を確保 ◆ 駅から各方面のまちへ円滑にアクセスできる動線(道路横断部) ◆ 来街者をまち全体で回遊させる歩行者空間
	上記の役割を支えるアメニティの充実		中長期滞在機能 外国人向け医療サービス グレードの高い飲食店	◆ 蒲田の魅力を楽しむことができる、 面的な歩行者回遊空間 ◆ 次世代モビリティの導入
	空港利用者の交通結節点としての魅力向上	空港に最も近い拠点として、多くの人々が立ち寄るまち	滞在価値を提供する 宿泊機能 魅力あるに ぎわい機能	◆ 駅の交通結節機能の利便性強化 ◆ バリアフリー化された、蒲田駅～京急蒲田駅への歩行者空間
生活拠点の役割	多文化都市として、誰もが安心して気持ちよく過ごせる環境	誰もが生活に必要なサービスを受けられ、蒲田らしいライフスタイルを実現できるまち	公共サービス機能 図書館、行政窓口 など まちに留まり、楽しむ機能・空間 オープンスペース、交流スペースなど 外国人向け生活サービス 充実した医療サービス	◆ 交通利便性(公共交通との結節、バス、自動車、自転車)の維持・強化 ◆ 駅から公共交通などへの乗換利便性向上 ◆ 誰もがバリアなく、まちを自由に歩き回れる歩行者回遊空間

2. 検討スケジュール



3. 蒲田駅周辺における課題

● 蒲田駅周辺（基盤整備方針の対象エリア内）における主な課題について、駅機能、駅前広場、駅周辺街路や街区ごとに、現状の課題、新空港線整備などの将来変化によって想定される課題を以下に整理します。

○西口駅前広場

【課題】

- 乗換え利便性向上のためのバス・タクシー乗降場等、**交通施設の再配置(集約化など)**
- 将来需要に対応した**駅前広場の拡張**
- 新空港線**に対応した交通結節空間
- 更なる歩行者の増加が見込まれる**南口**方面の歩行者動線の確保

○駅周辺街路

【課題】

- バリアフリーへの対応など、安全性、快適性に配慮した歩行者空間の確保
- 回遊性の高い歩行者・自転車ネットワークの形成
- まちの活力向上に資する賑わい空間の創出

○東口駅前広場

【課題】

- 乗換え利便性向上のためのバス・タクシー乗降場等、**交通施設の再配置(集約化など)**
- 駅前広場内を通過する一般車両動線の変更
- 将来需要に対応した**駅前広場の拡張**
- 駅や自由通路とまちを結ぶ円滑な歩行者動線確保
- 東口地下自転車駐車場等、初動期整備計画との整合

○東西連絡通路

【課題】

- 連絡通路の混雑の緩和
- 連絡通路のクランク形状の解消
- JR南口と東急改札間の乗換え滞留・混雑の解消
- 東急改札側と東口南側双方からのアクセス確保
- 鉄道相互の乗換利便性の向上
- 駅北側の歩行者動線の機能確保
- 歩行者ネットワークに対応した歩行者動線の確保
- 将来需要に対応した配置と幅員の確保

○駅周辺街区

【課題】

- 老朽化した建物の機能更新
- 今後蒲田駅周辺に求められる機能を踏まえた、駅や駅前空間、駅周辺街区の再開発等の施設と連携した一体的なまちづくりの推進

○駅舎・駅ビル

【課題】

- 老朽化による建物更新
- 荷捌き車両と歩行者の交錯の解消
- 航空制限や敷地形状など、高度利用上の制約を克服した駅ビル建替え
- 機能更新時の附置義務駐車台数の確保
- 鉄道利用者にも配慮した歩行者動線確保



4. 蒲田駅周辺における基盤整備の検討方針

(1) 求められる役割

- 駅舎、駅ビル、東西自由通路や駅前広場などの基盤施設の一体的整備によって最大限の利便性を発揮する駅前空間
- 回遊性の高い歩行者空間の整備とともに、歩行者の安全性に配慮した車両の誘導、抑制などによる歩行者優先のまちづくり
- 自転車駐車場や自転車利用環境の計画的な整備や、次世代交通を見据えた多様な移動手段の有効活用による快適な移動環境



(2) 各交通施設等に求められる要件

自由通路・連絡通路

- 東西の大きなネットワークを円滑に処理させるため、クランクを解消し、将来ニーズに対応可能な規模の東西連絡動線を整備
- 24時間常時解放され、災害時の退避経路としても機能する動線を整備
- 東口、西口のまちの主要動線との良好な接続を実現
- 東西のまちの連携、利便性向上のための安全で快適なネットワークの確保

駅前広場

- 公共交通との結節性を強化し、歩行者回遊ネットワーク強化のため、バス乗降場を駅前広場内に集約
- 自由通路からまちへ向かう歩行者動線が、各方面へ円滑に割り振られるような歩行者の溜まり場と歩行者動線の確保
- 周辺街区等と連携した自転車駐車場の整備
- 将来の交通結節点として必要な機能の確保

駅周辺街路・街区

- 回遊性を向上させるための連続した歩行者空間の確保
- 安全で快適な歩行者空間を形成するため交通ネットワーク全体の見直し
- まち全体の活力・利便性向上のため、駅とまちが一体となった整備の実現

5. 整備の方向性

- 蒲田駅東西の連携強化、周辺開発と連携した駅前広場の再編整備、まちを回遊する歩行者ネットワークの構築により、駅周辺の交通結節機能の強化を図ります。

自由通路・連絡通路（東西ネットワーク）・駅空間

- 駅東西の連絡性・回遊性の強化を図るため、東西駅前広場を直線でつなぐデッキレベルの自由通路を整備します。
- 新空港線整備を見据えたまちや鉄道相互の連絡の利便性向上を図ります。
- 駅北側の自転車・歩行者東西ネットワークの利便性向上を図ります。

西口駅前広場

- 歩行者動線の改善・交通結節機能の強化のため公共交通機能の集約・再配置を行います。
- 歩行者環境の改善のため、周辺用地の活用可能性を含め歩行者空間確保を検討します。

西口駅周辺街路・街区

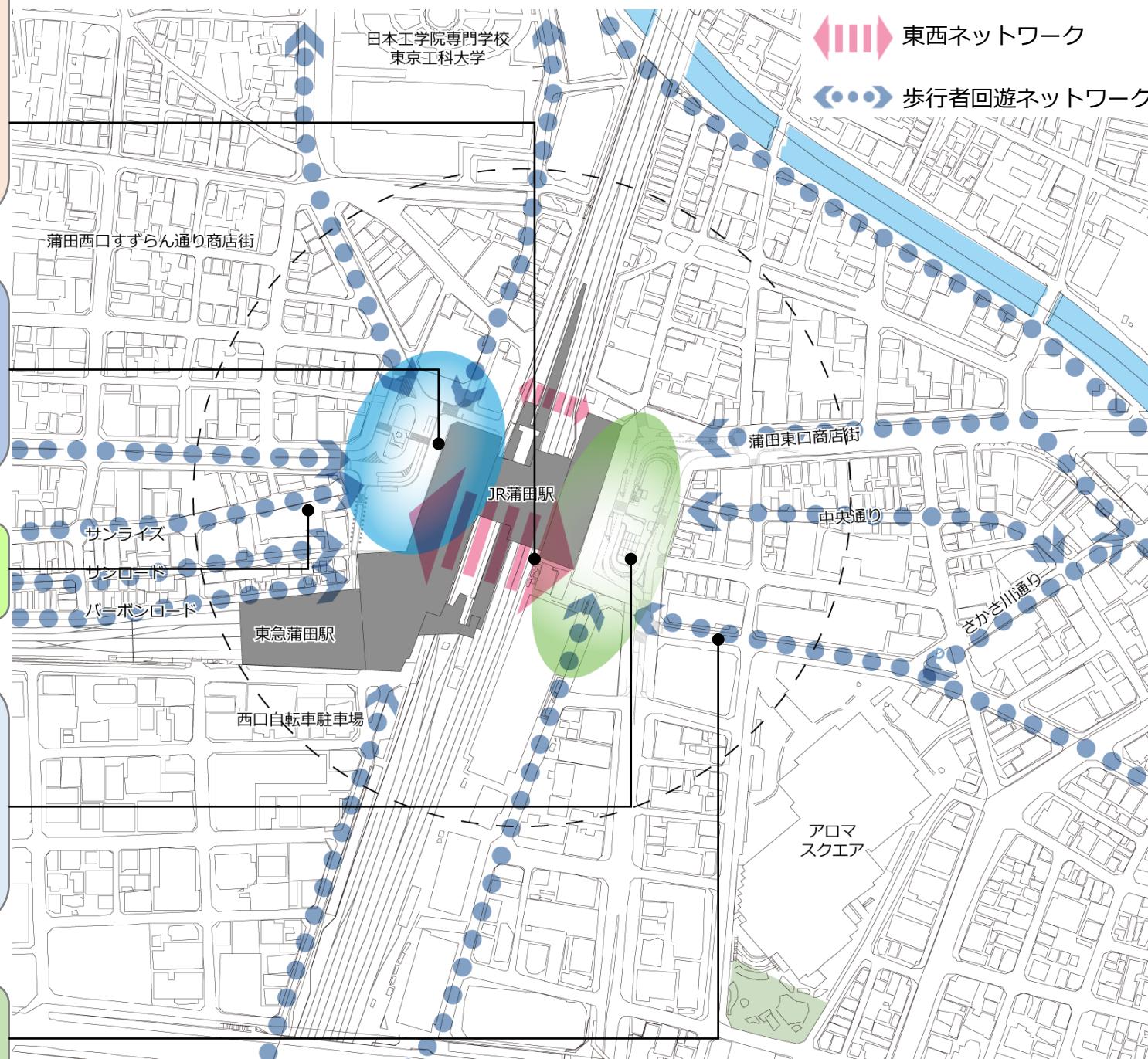
- 周辺建物の建替えなどに合わせて歩行者空間確保を検討します。

東口駅前広場

- 歩行者環境の改善・交通結節機能の強化のため、駅前広場を拡張し公共交通機能の集約・再配置を行い、初動期整備計画との整合性を図りながら、さらなる利便性の向上を図ります。
- 駅前広場の拡張については、周辺の公共施設や周辺街区の活用可能性も含めて検討します。

東口駅周辺街路・街区

- 駅周辺に求められる機能や駅前基盤施設と連携し、歩行者優先の空間を確保します。



蒲田駅周辺における整備の方向性のイメージ（案）